

平成21年度  
「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業

# 日系社会青年ボランティア「現職教員特別参加制度」 活動支援のための教育協力システムの形成

課題実施機関 愛知県立大学

活動実施者 東弘子, 加藤史朗, 宮谷敦美, 松宮朝, 高阪香津美  
松本一子(愛知教育大学), 小島祥美(愛知淑徳大学)

2010年1月10日(日) 14:30~15:00

筑波大学東京キャンパス大塚地区 G201

# 目的

- (1) JICA日系社会青年ボランティア現職教員  
特別参加制度による隊員の活動の質の向上  
および、帰国後の外国人児童・生徒に対する  
教員としての指導力の向上
- (2) 日本、ブラジル間の移動をくりかえす児童  
・生徒に対する教育支援のための情報ネット  
ワークの形成

# 活動実施体制

- 活動協力者(敬称略)

豊田市立西保見小学校、豊田市立東保見小学校、豊田市教育委員会初期指導教室「ことばの教室」、NPO法人子どもの国(放課後学習支援事業「ゆめの木」教室)、日本語学習支援教室Vizinho、NPO法人可児市国際交流協会、小川裕美(可児市教育委員会学校教育課・外国人児童生徒コーディネータ)、渡邊あづさ(愛知県西三河教育事務所・外国人児童生徒語学相談員)、菊池寛子(西尾市教育委員会・早期適応教室指導員) 勅使千鶴(日本福祉大学子ども発達学部・教授)

JICA日系社会青年ボランティアOG: 久保真希子(愛知県東三河教育事務所・外国人児童生徒語学相談員)、川上貴美恵(せんねん村中野郷保育園・外国人児童コーディネータ)、今井さや香(知立市教育委員会・早期適応指導員)、青木由香(富山県高岡市・外国人児童生徒指導講師)、三澤由佳子((財)海外日系人協会・非常勤講師)

- アドバイザー

JICA、海外日系人協会、愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室、愛知県教育委員会、豊田市教育委員会

## 活動スケジュール(2009年度)

- 7月3日(金) 本事業採択決定 活動開始
- 8月5日(水) 第1回アドバイザリーボード
- 8月26日(水) 第1回研究会「ブラジル人児童生徒の教育活動  
ーブラジル本国での活動経験をもとにー」
- 9月8日(火)ー14日(月) ブラジル現地調査 (2名)
- 9月23日(水) 第2回研究会(公開)「学校教育における外国人児童  
生徒教育・日本語教育-岐阜県可児市の取り組み-」講師:小川裕美氏
- 10月29日(木) 第2回アドバイザリーボード
- 11月5日(木) 〈共催〉公開講演会「豊田市立東保見小学校における外  
国籍児童への学習支援」講師:小山幾子教諭
- 12月23日(水) 第3回研究会「ブラジル人学校と日本の学校をつなぐ  
視点」
- 3月10日(水) 活動終了(予定)

# 活動と成果 1

## 日本国内の教育実践者・JICA現職教員隊員へのニーズ調査

1. JICA日系社会青年ボランティアOGかつ現在日本での教育実践者である活動協力者から意見聴取。現職教員隊員に学んできてほしいことをテーマに研究会を実施。 → **座談会記録(読み物)**
2. ブラジル人学校からみた日本の教育者に対するニーズを意見聴取。「日本の学校とブラジル人学校をつなぐ視点」というタイトルで研究会を実施。
  1. 2. → **ニーズをまとめた報告書**
3. JICA現職教員隊員に対する意識調査  
→ **アンケート集計、報告**

## 活動と成果 2

### 日本・ブラジル間の教育体制・文化の違いに関する、 既存の情報の整理

外国人児童・生徒への指導の質の向上を目的に  
各地の教育委員会などが作成した成果を整理・精査

→ 移動する子供が持ち運べる、日本・ブラジルの教育体制・文化の違いについて現場の先生や当事者が見てすぐにわかる、情報一覧シート

## 活動と成果 3

両文化を理解し、また相互に尊重しあう感情を育成するための教具と活用方法の提案

日本の教育現場、ブラジル人学校、ブラジルの隊員受け入れ学校において、様々なシーンで活用できる地図教具の作成と活用方法の提案。

- 日本とブラジルの地図(県や州, 行政区分などの各種分類)の電子画像と、わかりやすい地域に関する説明文の電子ファイルの提供、および使用方法の提案

## 活動と成果 4

### 現地活動中の隊員への支援(Webページ利用)

- 現地で求められている「日本語指導」活動サポートのための絵カードを提供
- 帰国後に必要となる日本国内の外国籍児童・生徒指導のための「お役立ちリンク」を提供



1 制度充実のための基礎調査(ニーズの発掘)

(日) 外国人に対する教育実践者 } ……意見聴取  
      ブラジル人学校関係者 }  
(伯) 現職教員隊員 …………… 意識調査

JOCVのOG 兼  
教育実践者 による

座談会記録

情報を整理

報告書

2 日・伯 間の文化差に関する既存情報の整理

日本国内の教育委員会や国際交流協会などが作成の  
教育に関わる情報の整理

情報一覧シート

3 日・伯 両文化の理解のための教具作成と活用提案

日伯双方で利用できる地図教材の作成

日本・ブラジルの  
地図教具  
電子画像作成と  
使用法の提案

並行して

4 現地活動中の隊員への支援・助言・情報提供 (ブログ・Webページ)

# 日本とブラジルの教育制度 & 学校文化一覧表 (作成中+ポルトガル語版)

|    |            | 日本   | ブラジル  |
|----|------------|--|---|
| 1  | 教育制度       | 小学校6年、中学校3年、高校3年、大学2～6年                                  | 基礎教育(日本の小・中学校にあたる)9年、中等教育(日本の高校にあたる)3年、高等教育2～6年               |
| 2  | 義務教育年数     | 9年(小6年+中3年)  | 9年(小5年+中4年)   |
| 3  | 学年暦        | 4月スタートで3月に終了   | 2月スタートで12月に終了   |
| 4  | 授業時間       | 全日制  | 2部制(午前又は午後)、3部制(午前又は午後又は夜)                                    |
| 5  | 学校選択       | 小学区制   | 親が学校を選択   |
| 6  | 入学年齢       | 満6歳  | 満6歳   |
| 7  | 学期         | 2学期制又は3学期制   | 4学期制  |
| 8  | 入試制度       | 高校進学・大学進学に際して、必ず入学試験がある                                  | 高校進学・大学進学に際して、入学試験があるが、公立高校については入学試験がない場合もある                  |
| 9  | 落第・飛び級制度   | ない   | 私学ではあるが、公立学校では原則としてない(かつては基礎教育の1年から落第があった)                    |
| 10 | 通学方法       | 小学校は通学団登校  | 親による送迎、スクールバス利用   |
| 11 | 授業料        | 義務教育は無料  | 公立の場合、大学まで無料  |
| 12 | 公立と私立のレベル差 | 公立と私立で教育水準を比較することができない                                   | 基礎教育と中等教育は、私立の教育水準が高いが、高等教育は公立の方が教育水準が高い。公立大学合格者はほとんどが私立高校卒業生 |
| 13 | 入学式など式典    | 入学式・卒業式始業式・終業式がある  | 卒業式はあるが、入学式・始業式・終業式はない  |
| 14 | 授業科目       | 国語・算数(数学)・社会・理科・英語・音楽・美術・技術・家庭・体育(学校にプールがあるため夏は水泳の時間がある) | 技術・家庭科・音楽がない<br>プールはない  |
| 15 | 教科書        | 無料で支給される   | 貸与されて使用し、返却する   |

|    |               |  |  |
|----|---------------|--|--|
| 16 | 行事            | 遠足・学芸会・作品展・運動会・修学旅行・宿泊を伴う野外学習など                                    | 修学旅行など宿泊を伴うものはない。母の日・クリスマス・イースターなどはある                |
| 17 | クラブ活動         | 野球・サッカー・テニス・バスケットボール・バレーボール・陸上・水泳などの運動部や美術・ブラスバンド・英会話など多様な部活動がある   | ない。個人的にスポーツクラブに通ったりする                                |
| 18 | 給食・食文化        | 小学校とほとんどの中学校は給食がある<br>ブラジルは味付けの基本が塩コショウのため、日本の給食が食べられず、慣れるのに時間がかかる | 給食はあっても簡単なもの。校内の売店で買うこともできる。                         |
| 19 | 時間割           | 1日の授業が給食をはさんで5～6限あり、授業と授業の間には5～10分の休憩がある                           | 半日で5限くらいあるが、授業と授業の間の休憩は、2限と3限の間の1回のみで15分くらい          |
| 20 | 掃除            | 教室もトイレも運動場も児童生徒が掃除をする  | 清掃係の職員の仕事  |
| 21 | 制服            | 夏用・冬用の制服があり、お金がかかる   | Tシャツのような簡単な制服が多い。                                    |
| 22 | 保護者会・授業参観     | ある   | 授業参観はない  |
| 23 | 校則・アクセサリ      | 髪型、持ち物など校則で決められていることが多い。<br>アクセサリ禁止                                | アクセサリは個人の自由  |
| 24 | 欠席・遅刻の届け出・連絡帳 | 欠席や遅刻の場合は、当日の朝、学校に連絡<br>親からの連絡は電話で直接話すか、連絡帳に書く                     | 出席は75%で進級できるため、届けなくてもいい。2～3日休んだときは、後日医者診断書と共に報告すればよい |
| 25 | 長期休暇          | 夏休み(7/20～8/31)、冬休み(12/26～1/7)、<br>春休み(3/23～4/3)                    | 夏休み(12/末～2/初)、冬休み(7月中旬の1週間のみ)                        |
| 26 | 算数の引き算や割り算の仕方 | 13-8の計算は、10-8=2、2+3=5と計算する<br>12÷3= 3)12 のように書いて計算                 | 8にいくつ足すと13になるかを計算<br>12:3= 12)3 のように書いて計算            |
| 27 | 教師の勤務時間       | フルタイムで勤務   | 午前の授業が終了後、午後は別の学校ではたらく教師がいる                          |
| 28 | 経費            | 学年費・給食費・PTA会費・・・ワークブックやドリル代<br>・遠足費・修学旅行費(6年生のみ)などの集金がある           | 公立学校は給食費も含めて原則無料                                     |
| 29 | 成績票           | 相対評価と絶対評価の組み合わせ？   | 絶対評価   |
| 30 |               |  |  |

## 地図教材(日本・ブラジル)

- 全国図 → 地方図 (反転図も作成)  
地方毎に色分け
- ランドマーク  
中国地方  
: 原爆ドーム(広島県)  
南部  
: イグアスの滝(パラナ州Estado do Paraná)

# 地方のランドマーク

## ／ 県の情報

|         | 名所     | 都道府県 |
|---------|--------|------|
| 北海道地方   | 雪まつり   | 北海道  |
| 東北地方    | 青函トンネル | 青森県  |
| 関東地方    | 東京タワー  | 東京都  |
| 信越・北陸地方 | 黒部ダム   | 富山県  |
| 東海地方    | 富士山    | 静岡県  |
| 近畿地方    | 大仏     | 奈良県  |
| 中国地方    | 原爆ドーム  | 広島県  |
| 四国地方    | 阿波踊り   | 徳島県  |
| 九州地方    | 阿蘇山    | 鹿児島  |
| 沖縄地方    | 首里城    | 沖縄県  |

| 都道府県名 | 情報(簡単な表現)   |
|-------|---|
| 北海道   | 日本の一番北にあります。<br>土地が広いです。米や野菜がたくさんとれます。<br>夏はすずしいです。冬は雪がたくさん降ります。<br>雪祭りがあります。 |
| 青森県   | トンネルで北海道に行けます。<br>日本で一番りんごがとれます。<br>ねぶた祭りが有名です。                               |
| 岩手県   | 日本で二番目に広い県です。<br>サンマやわかめがたくさんとれます。<br>わんこそばが有名です。                             |
| 宮城県   | 東北で一番人の多い県です。<br>七夕祭りが有名です。   |

『日本がわかるちずのえほん』(学研)よりリライト

# 今後の課題

- JICA 隊員とのコミュニケーション  
blogの活用  
縦の関係をつなぐ役割
- 国内でのニーズの発掘  
教育委員会における本制度の位置づけ  
活動終了後の人材活用イメージの形成
- 日伯双方の制度理解の促進  
隊員の活動内容の向上